

## 班回覧



令和5年10月 発行  
由布市挾間青少年健全育成市民会議  
事務局：挾間公民館内  
TEL：097-583-1118  
FAX：097-583-1186

# 由布市挾間

# 青少年健全育成市民会議

## 令和5年度重点目標

- ① 子どもが健やかに成長できる環境をつくるため、安心安全なインターネット環境の利用に関するマナー啓発の促進、声かけ、挨拶、見守り活動を実施しよう。
- ② 地域ぐるみの青少年健全育成活動が実践されるように、各種団体と共同した事業を展開し、ふるさとの活気と健やかな青少年のこころを育もう。

### 令和5年度総会



令和5年6月1日(木)開催  
はさま未来館 大研修室

### 役員紹介



副会長 佐藤 武洋    会長 枝木 東海    副会長 穴戸 美代    顧問 田中 廣幸

### 会長あいさつ

猛暑が続く今年、豪雨被害が各地で発生した一方、降水不足によるお米や野菜の耕作被害のニュースがある。ここ最近、日本各地で経験した事の無いような自然災害が多発している。海外では、異常気象により山火事なども起きている。そして被害を受ける人々が増えている。

わたし達は、災害から命を守る行動や考え方を学び、そして実践する事が出来ます。

- ・自助にて、本当に大切な一人に一つだけの命を守る行動を知っています。
- ・共助にて、地域の方との関係を作り、双方向にて助け合える関係を作る事が出来ます。
- ・公助では、多くの方と力を合わせ、お互いさまの心で譲り合う心を持つ事が出来ています。

この様な大人の行動を子どもたちに見せ、教えて行く事が必要と考えています。

由布市挾間青少年健全育成市民会議は、今年も地域の子どもの笑顔を守り、そして地域の笑顔を守る事を目指して取り組んでいきます。

## ポップコーン機・綿菓子機の貸し出しについて

由布市挾間青少年健全育成市民会議では、ポップコーン機・綿菓子機の貸し出しを行っています。子ども会・自治区の行事などでご活用ください。

#### 貸出料金

- ・子どもの団体（挾間地域）が利用する場合は無料です。
- ・その他の団体は1行事2,000円必要です。

※ポップコーン機は、専用油・バターソルト代として500円必要です。

#### 申込方法

挾間公民館で、予約・貸し出しを行っています。予約受付は、2か月前の初日から行っています。

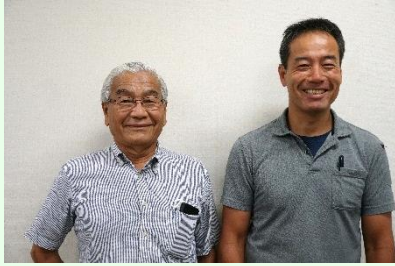


# 専門部会紹介

(写真 左：部長・右：副部長)

## 街頭指導部

部長：丸野 安比古  
副部長：蓑原 元



令和5年度の事業計画は、昨年に引き続いて実施されている古野から北方交差点に至る通学路での自転車登校指導に加えて、向之原駅での早朝の挨拶・見守り活動も復活させています。

また、花火大会やきちよくれ祭りなどの行事開催も予定されているようですので、それぞれの行事に合わせて、子どもたちの見守り街頭指導を実施しようと、挟間交番・挟間中学校・由布市挟間町少年補導委員会の方々と話し合っているところです。

8月19日は「はさま盆踊りまつり」がイオン挟間店の屋上で開催されました。久しぶりの祭り事とあり、大盛況の会場で前述の関係者で見守り隊を結成し、見守り・安全確認を行いました。

## 地域家庭学校部

部長：梶原 公洋  
副部長：谷崎 直輝



昨年に引き続き、部長を務めさせて頂く梶原と、新たに副部長になりました谷崎です。今年度第1回目の専門部会では、活発な議論が行われ、「SNSなどの正しい使い方・マナーについては、アンケート結果の広報活動に留まらず、研修会などによる学べる機会を提供してもらいたい。」などのご意見を頂きました。これからも「地域の子どもたちは地域で育てる。」をモットーに、子どもたちとのふれあいを大切にし、「ありがとう」という感謝の気持ちを育てるため、家庭内での「あいさつ」を積極的に行って頂きたい。さらに、地域との関わりをもつために、各種行事やイベントなどへも、積極的に参加して頂きたいと思っております。

今年度もよろしくお願い致します。

## スポーツ文化部

部長：中村 純一  
副部長：田中 眞知安



昨年に引き続き、スポーツ文化部を務めさせて頂くことになりました。今年度は、コロナ禍も落ち着きようやく通常に戻った総会が開催され、皆様からさまざまなご意見・ご要望を頂き感謝しております。

すでに7月末に行われた「防災講演会」では、多くの親子の方にご参加して頂き、とても有意義な講演会となりました。10月には、昨年も好評でした「挟間まちウォーキング」も予定しております。

スポーツ文化部では、地域の皆様のご意見を取り入れ、子どもたちの安心・安全をモットーに、各種講習会や行事を通じて、地域力・防災力の向上に繋げていければと思っております。

今年度もよろしくお願い致します。

## 広報啓発部

部長：生野 友子  
副部長：安部 公徳



皆さんこんにちは。

昨年に引き続き、広報啓発部を務めさせて頂くことになりました。一昨年より活動のテーマに、「SNSに起因する諸問題」を取り上げており、今年度も、同様の活動を続けていくつもりです。この活動を行うにあたり、アンケート調査などを皆さんにお願いすることになるかと思いますが、何卒ご協力の程、よろしくお願い致します。

また、広報啓発部に取り上げて頂きたい内容や、ご意見・ご要望などがございましたら、是非ともお聞かせ頂けますと幸いです。

今年度も、情報収集と啓発活動に努めて参りますので、1年間どうぞよろしくお願い致します。

由布市挟間青少年健全育成市民会議では、NPO法人はさま未来クラブの広報紙「未来クラブ」に、挟間町内5校の校長先生の紹介を、挟間青少年健全育成のコーナーの「シリーズ青少協つぶやき」として、掲載して頂いております。今年度の掲載は、5月号、8月号、11月号、3月号です。今年度から、本紙10月発行分にも掲載することになりました。どうぞ、両紙面共にご覧ください。

## 「めざすはその子なりの自立」

教員として30年近くが経とうとしています。共に一時期を一喜一憂した多くの子どもたちも、今では立派に成人となっていることでしょう。

最近、私の家の周辺にトンビが2羽住み着いています。帰宅する時間帯は必ず決まった電線に留まっている姿が何とも愛おしく、気になってはチェックしています。ある時、そこに小柄なもう1羽がいることに気づきました。きっと、子トンビではないかと思いますが、親トンビはそのよろよろ飛ぶ様子をじっと電線から見守っているようでした。私は「教員の仕事は」と問われたとき、「自立」に近づける仕事だと答えます。社会の一員として、自分から関わり、判断し、生きていくことができるように、何年間もかけて様々な知識や資質を身につけさせることが、学校の持つ意味のように感じます。大人は、どうしても、今の姿で子どもたちに声かけをしますが、大事なものは、その声かけの中に5年後10年後の姿のイメージがあるかないかではないでしょうか。その子なりの自立をめざして。

もしかして親トンビは、子トンビが悠々と大空を飛んで狩りをし、自立して生きていく姿をイメージして電線の上にいるのかと思うと、また私のトンビ愛は深まりそうです。